

令和4年度 第1回 舟橋村立舟橋小中学校 学校運営協議会 概要報告

- 1 日 時 令和4年5月26日(木) 15:30~16:45
- 2 場 所 舟橋会館 2階研修室
- 3 出席者 良峯 喜久男(舟橋中学校同窓会長) 前原 英石(体育協会会長)
深川 敦夫(自治会連合会長) 山岸 克彦(立山舟橋商工会副会長)
平川 和幸(舟橋中学校育成会長) 松下 雅人(舟橋小学校長)
内生蔵 保人(舟橋中学校長) 竹島 和子(社会教育委員代表)
川崎 和夫(社会福祉協議会長) 京角 由美(主任児童委員)
高野 良子(舟橋図書館長) 清水 日登美(舟橋会館長)
土田 聡(ふなはしテトラ協働本部統括コーディネーター)
高見 要宇子(同 小学校担当マネージャー)
野村 智浩(同 中学校担当マネージャー)

※以下、「ふなはしテトラ協働本部」を「テトラ」と記します。

- 欠席者 米澤 忍(舟橋小学校育成会長)
- 事務局 早川 誠一(教育長) 松越 正純(舟橋小学校教頭)
小林 仁美(舟橋中学校教頭) 加藤 美希(学校教育係主事)
島田 翔平(社会教育係長) 田屋 真佐美(社会教育係主任)

4 内 容

(1) 開会挨拶 <早川教育長>

- ・昨今は急激な変革の時代であり、教育分野でも同様に学校教育と社会教育が融合しながら子供たちを育てていくというシフトチェンジが求められております。
- ・今の子供たちが今後生きていく社会、そして私たち大人が残すべく社会を真剣に考えていく必要があると思っています。そのようなことから、“地域ぐるみの教育体制の一環”として本協議会があります。
- ・本協議会では、皆さんと目的を共有し意見を気軽に出し合って小中学校を支えていくというスタンスで、具体的には子供にどう接すれば良いかということを念頭に活動をしてください。

(学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼ぶので、今後は「コミスク協議会」と気軽に読んでください。)

●協議会規則の概要説明

(規則全文は、[舟橋村HP](#)>[行政情報](#)>[条例](#)>[舟橋村学校運営協議会規則](#)をご覧ください。)

第2条(趣旨) 学校運営とそれに必要な支援に関して協議する機関として、学校運営の改善や子供たちの健全育成に取り組みます。

第4条(学校運営に関する基本的な方針の承認) 小中学校長及び教育委員会は、次の事項について毎年度基本的な方針を作成し、協議会の承認を得ます。

- (1) 小中一貫教育の方針 (2) 小中学校の運営計画、教育課程及び組織の編成
(3) 学校予算の概要、施設設備等の整備 (4) 地域学校協働活動 (5) その他

2 校長は、承認された基本的な方針に従って学校運営を行います。

第5条（学校運営等に関する意見の申し出） 協議会は、小中一貫教育及び小中学校の運営全般について、意見を述べるすることができます。運営全般とは、職員や地域等の必要な人材、必要な施設・設備等、そして必要な行事です。

第6条（学校運営等に関する評価） 第2回の開催を2月に予定をしています。その場で学校のアクションプランに対する結果を話していただき評価としたいと考えています。

第7条（情報提供） 協議会の会議録は村のHPに載せ、村報等を通じて進捗状況を常に情報提供をしていきます。

(2) 委員紹介（3に前記）

(3) 役員選出 全委員の互選により、会長に良峯委員、副会長に前原委員を選出

(4) 協議内容（会長による進行）

① 小中一貫教育について

<小林教頭>（小中学校HP内「舟橋村『9年間の学びの世界』構想」をご覧ください。）
一貫教育の視点と「ふなはし」に合わせた目指す子供像・生徒像を4つ設定しました。

【地域連携】



(小) ふるさとを愛し、地域に学ぶ子供

(中) ふるさに根ざし、広い世界にはばたく生徒

- ・環境に関する知識や理解を深めさせたり、今後の生き方を考えさせたりして、故郷に対する理解や愛着心、連携・協働する力を育みたいと考えています。
- ・「ふるさとの川でつながる環境教育」を軸にして、9年間の学びを今年度から推進していく予定です。
- ・中学2年生は、7月に「14歳の挑戦」を実施します。テトラに協力していただき、舟橋村、立山町の事業所から受け入れ許可をいただいています。

【人格形成】



(小) なかよく助け合い、思いやりあふれる子供

(中) 仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒

- ・「舟橋ふれあいボランティア」は、昨年度は社会福祉協議会の企画により、夏休み中に多くの生徒たちが体験することができ、有意義に過ごすことができました。
- ・「心の教育の推進」では、道徳の授業改善も含めて取り組んでいるところです。

【健全育成】



(小) 働くことをいとわず、進んで行動する子供

(中) 働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒

- ・心の耕しとして読書活動を推進し、中学校では朝の読書タイムを設けています。
- ・中学1年生が小学校に出向き、絵本の読み聞かせを行っています。図書館の館長さんやスタッフの皆さんから、読み方の指導をしていただいています。また、その絵本の帯を作って学習発表会や図書館で展示し、保護者や村内の皆さんにも見ていただき、子供にとっては励みとなっています。
- ・体の面では、スマホ等の長時間利用が大きな課題であり、目の健康や睡眠の大切さなどを子供たちに学ばせ、今後育成会とも協力し合って進めていきたいと考えています。

【協働学習】



(小) しっかりと見聞きし、よく考える子供

(中) 知る喜び、分かる喜びを求めて、学び合う生徒

- ・小中連携して“学び合う”ことを重視しています。
- ・『〇〇上手になろう!』は、“読み上手”、“書き上手”、“聴き上手”、“話し上手”になろうということです。これらは、言語活動のスキル指導に繋がります。子供の意見文や資料を教室に掲示することにより、子供たちの意識を高めています。

(総括)

- 一番に配慮したい点は、多様な他者との関わりです。小さな子供から大人まで幅広い年齢の方に関わっていただくことはとても大切な機会になります。
- “成すことによって学ぶ”ということを大切に、机上の学習のみでなく様々な体験を通して、持ち前の力を発揮したり居場所を見付けたりできるようにしたいです。

② 各学校の運営方針について

◎舟橋小学校 <松下校長> (学校HP内「[学校運営方針](#)」欄をご覧ください。)

- ・「9年間の学びの世界」構想を受けてランドデザインに盛り込んであり、小中一貫を大事にして学校教育を進めていきます。

【自主性と思いやりの心の育成】(今年度の重点目標)について

- ・“子供の理解”と“温かい学級作り”を合言葉にして取り組み、子供が自ら考え、行動できるよう学習を工夫し、自主性に繋げていきたいと考えています。
- ・挨拶を通して、思いやりの心の育成に繋がっていきます。今週から、児童会を中心に自主的に挨拶運動を始めています。また、縦割り班等で他者と関わり合う学習の工夫をしています。地域の方との関わり合いも大切にしながらと考えています。

【望ましい生活習慣の育成】について

- ・昨年度から「目にやさしい生活をしよう」と取り組んでおり、5月初めの調査でメディア使用の時間が長いことが分かったので具体的に使用時間を設定しています。

【ふなはし学び合いスタイル】について

- ・特に、“話し上手”“聴き上手”に力を入れて取り組んでいきます。
- ・研修主題の「聴き合う」とは、“相手が話していることを聴き、分かること”、“相手の気持ちを想像すること”に視点を置き、研修を進めていきます。

【ふ・な・は・し】について

- ・特に「いのちの教育」「自己指導能力を高める」「自分の命は自分で守る意識を高める」ことを意識して取り組んでいきます。
- ・【ふ】の地域の人材や環境等を生かした体験活動については、6年生は生き物と地域を大事にして取り組んでおり、他の学年にも広げていきたいと考えています。
- ・【な】の読書の奨励については、学校司書に読み聞かせをしていただいております、また、**村立図書館**も利用させていただいております。
- ・今年度は、こども園との接続にも取り組んでいきます。6月末には、年長の子供たちと保護者が学校に見学に来ます。また、夏休み中に**合同研修会**を行います。

◎舟橋中学校 <内生蔵校長> (学校HP内「学校の教育目標」欄を参照ください。)

- ・5月27日は、第73回の創校記念式を実施します。1950年(昭和25年)の独立から73年を迎え、同窓会長の良峯さんにもお越しいただき、お祝いを企画しています。

【全体計画】(グランドデザイン)について

- ・“学びの精神”を「主体的な探求心」と捉え、目標をシンプルに考え、できることを協力しながら取り組んでいきます。

「3 アクションプラン」について

- ・【知】「ふなはし『学び合い』スタイル」を見直しながら実践していくこと、また、家庭学習を定着させるため「TO DO リスト&自学ノート」をきちんと活用させ、教員がコメントをしっかりと書き、援助していきます。
- ・【徳】学校教育目標の基盤が“道徳性”であると考え、自主、自立、自由と責任の項目をきちんとやっていきます。同時に、委員会活動が自主的で楽しい活動となるように居場所作りを考えていきます。
- ・【体】低視力者の子供たち(特に女子)が増えているので、TO DO リストを活用し子供との関係づくりを含めて支援をし、メディアのコントロールをさせていきます。

「4 研修の取組」について

- ・今後の研究授業を通しながら「学び合い」の活動を検証してみます。

「5 連携・協働体制」について

- ・テトラには、7月の「14歳の挑戦」の事業所を確保していただきました。

(総括)

- ・このような活動を通して、舟橋村教育大綱基本方針にある「基本的な社会性と豊かな人間性」を育てて行きたいと思っています。

①②に関する質疑応答

(問)「メディア使用の時間」とはどのようなことを指しますか?

(答) テレビ、ゲーム、インターネット等、全て含めた時間です。

承認の確認

- ・挙手全員により協議事項①、②は【承認】となりました。

③ 学校予算の概要・施設設備等の整備について

<事務局> 令和4年度歳出予算の概要を説明

(共通) 【継続】GIGAスクールサポーターの配置

(小学校) 【新規】主要5教科のAIドリル導入

【新規】ナイター照明(工事済)、グラウンド防砂ネット(工事済)

【継続】ICT環境機器整備(タブレットPC50台、附属品等)

(中学校) 【新規】体育館LED化改修工事(秋に工事)

【新規】主要5教科のAIドリル、英検ネットドリル導入

【継続】ICT環境機器整備(タブレットPC35台、附属品等)

【新規】英語検定料補助

(図書館) 【新規】小学校図書室電算化(村立図書館と小中学校図書室の一元化)

③に関する質疑応答

(問) 昨今ニュースになっている半導体の関係でタブレット端末の納入の遅れが懸念されるところですが、なるべく早く子供たちの手元に届けてあげたいと思います。

納入時期について何か分かっていることがあれば教えてください。

(答) 納入時期は秋頃と聞いていますが、6月に入札を行います。

承認の確認

- ・ 挙手全員により協議事項③は【承認】となりました。

④ 地域学校協働活動について

< 土田委員 (テトラ総括コーディネーター) >

【テトラとコミスク協議会の関係】について

- ・ コミスク協議会で話し合われた内容を、テトラが受け取って活動を広げていきます。

【テトラと地域学校協働活動】について

- ・ 地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型活動を、「地域学校協働活動」と言います。
- ・ 地域と学校を繋ぐ役割がテトラで、そのコーディネート役をするのが土田です。日頃会館におりますので、何かあれば気軽に相談に来てください。テトラは、いろんな団体や個人に参画していただき、ネットワークの拠点となり、地域学校協働活動を推進します。

【テトラの取組例】(昨年度以降)

- ・ 現在協力いただいている活動は、「課外の学習支援」「部活動支援」「14歳の挑戦」「ボランティア活動」「歴史調査活動」などです。
- ・ 中学2年生の「14歳の挑戦」は、学校に代わって事業所をお願いをしています。
(本年度は、15事業所に当たり13事業所の受け入れが決まりました。)
- ・ 「算数学習会」は、月・水曜日の19時から20時30分まで、舟橋会館で行っています。
現在、子供の登録人数は、小学3年生から中学1年生まで13名です。

【舟橋小学校の要望】について(昨年度末)

- ・ 環境整備人材の紹介、クラブ活動や生活科や総合的な学習の講師紹介、施設見学の調整、課外の学習支援、学習イベントの企画運営、音楽学習の演奏などです。
- ・ 例えば、クラブ活動講師には、地域の方にいただいています。本年度は実現しませんでしたでしたが、ミシンを教えたいという方もおられます。

【舟橋中学校の要望】について(昨年度末)

- ・ 「14歳の挑戦」受入れ事業所との調整、環境整備人材の紹介、登下校時の見守り、夏休み中の余暇活動の企画、部活動支援、課外の学習支援、創校記念行事の企画、区域学校保健委員会の協力、講演会の企画運営、体験学習・親学び講座・キャリア学習等の講師紹介などです。
- ・ 部活動支援については、先生方の働き方改革の面から支援しようと、地域の方で担当できることを探しています。

【テトラ運営委員会での提案】について（昨年度末）

- ①「ながら見守り隊」 “ふなはしビレッジーズ” という愛称で提案をさせていただきました。現在帽子を作成中で、それを被って、ゴミ出しをしながら、農作業をしながら、犬の散歩をしながら、子供の見守り活動をしていただけたらと思っています。6月村報にチラシを差し込み、募集をかけます。皆さんにもお願いしたいところです。
- ②「村合同防災訓練」 現在、村担当者が中心に計画を練っているところです。小学4年生の学習を活かした形で実施できないかと考えています。
- ③「舟橋村吹奏楽団」 中学校吹奏楽部の練習を部OBとやることで、顧問の指導時間が軽減され働き方改革に繋がると考えています。経験者を紹介していただければありがたいです。
- ・「ふなはしまつり」 これまでは、学校に依頼がきて先生方が子供たちに付き添っていましたが、地域行事として若い世代が参画できないかと考えています。ステージの司会は、中学校の放送部が活躍の場とならないかなども検討をしていきたいと思っています。（まつりの協議会には、大学生2名に参画してもらいます。）

（総括）

- 今後は、“お願いする、される” の関係から、どんな子供を育てたいのかという同じ目的（目指す子供像）をもち、地域の人たちと学校とが、そのための活動を進めていくことが地域協働活動であります。

④に関する質疑応答

- ・特にありませんでした。

承認の確認

- ・挙手全員により協議事項④は【承認】となりました。

⑤ その他

<早川教育長>

- ・「ながら見守り」の件ですが、自治会長会議でもPRをさせていただきます。また、村報でも公募を行います。皆さんにも呼びかけていただきたいです。学校でも、この帽子を被っている人に対して、遠くからでも挨拶をしてもらえれば嬉しいです。
- ・「ふるさとの川でつながる環境教育」について補足します。これは、小学校の総合的な学習でサケやサクラマスの子魚を放流したり、先日は竹鼻リバーサイド公園で卵から育てた蛍の幼虫を放したりして、新聞やテレビで報道されました。小学校を核にして中学校にも繋げ、こども園やすきっぷ園の子供たちには「14歳の挑戦」で中学生が連れて川を見せに行ったりなど、環境教育を取り入れながら“川でつながっていく”幼小中一貫教育にしたいと考えています。
- ・最後に、これからは目指す子供像①②③④を意識しながら子供たちに関わっていただきたいです。キーワードは、①ふるさと、②かよし（仲間）、③たらく（ボランティアや地域活動）、④つかりと勉強（学ぶ）です。
- ・今回は2月に総括として予定をしています。その時に実践の結果等からたくさんのご意見をいただければ、これからこの協議会が上手く回っていくのではないかと考えていますので、よろしくお願いたします。

<高野委員>

- ・小中学生のマスク着用について、実際にどういう方針でやっておられるのかをお聞かせください。

<松下校長>

- ・小学校では、これからの時期は熱中症のリスクがあり、命に関わることですので、今は熱中症対策を一番に考え、その上でのマスク着用と考えています。
- ・体育館では、換気を良くしてマスクを外して運動をします。外すときは話をしないという約束で給食の時と同じです。逆に、教室内では換気を良くし、付けています。

<高野委員>

- ・「図書館はマスク着用不要」という見解に困っているのですが、村立図書館としては、子供たちも原則着用していますので、一般の方もご協力をお願いしたいです。子供たちにも、図書館ではマスクをしてねと言えるように、ご意見をお聞かせください。

<前原副会長>

- ・県の方は4月からステージ1に下がりましたが、基本的（マスク、手洗い、3密等）な感染対策は引き続き行いしょうとっております。この場合も必要性があると考えられれば、マスクの着用は原則してくださいと言っていいと思われます。

<早川教育長>

- ・原則的にはマスク着用をお願いしましょう。村立図書館の来館者の8割は村外の方です。併せて子供たちの利用も多いことからです。マスクを外したいと強く言われる方には、しゃべらないことや距離をおくことなどで対応をしていただきたいと思います。

<良峯会長>

- ・これで協議を終了いたします。

(5) 閉会挨拶

<前原副会長>

- ・本日は、ご協力いただきましてありがとうございました。
- ・協議事項につきましては、全て承認をいただきましたことに感謝申し上げます。
- ・議員の立場で、小中一貫教育の学校に視察に行った際に言われるのが「舟橋村の方がよっぽど進んでいるじゃないですか？私たちが話を聞きたいと思っていますよ」とありがたい言葉を聞きました。
- ・思い返してみると、私の子供のころから、この舟橋村は小学校一校、中学校一校の小中一貫の中で育ってきて、遊びも勉強も小学生中学生と一緒にやってきました。これが当たり前の中でずっと育ってきましたが、今回この協議会ができたことによりもっと充実したものにしていかなければならないと思います。
- ・地元の子供たちは地元で育てるという言葉は良く聞きますが、実際何がそれに繋がっていくのかがよく分からないところもありましたが、この協議会ができたことにより、その気持ちを強くもっていただければ、また、そうしたことが学校の先生方の働き方改革にも繋がってくれば、この協議会が設置された意味もでてくると思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。